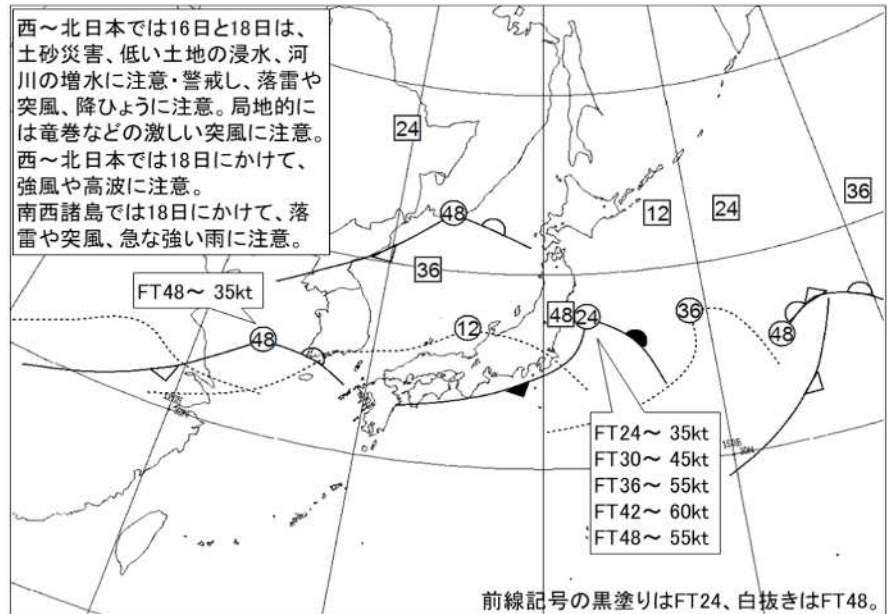


1. 実況上の着目点

① 前線が、華中～西日本～東海道沖にのびており、前線上の黄海には低気圧があって、東北東進。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、西日本では局地的に雷を検知し激しい雨や非常に激しい雨を解析している所がある。海上では猛烈な雨を解析。また、前線北側ではやや強い風が吹き、波が高くなっている所がある。

② 南西諸島では、下層暖湿気の影響で、海上では局地的に雷を検知し激しい雨や非常に激しい雨を解析している所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の前線は、500hPa 5760m付近のトラフに対応し次第に北上する。黄海の低気圧は16日朝までに次第に不明瞭になるが、16日朝までに前線上の日本海で別の低気圧が発生し、発達しながら東進、16日夜には日本の東へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。西～北日本では16日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなりしけとなる所がある。西～北日本では17日にかけて、強風や高波に注意。

② 18日は、500hPa 5520m付近のトラフに対応し、前線を伴った低気圧が沿海州付近からサハリン付近へ、500hPa 5820m付近のトラフに対応し、別の前線を伴った低気圧が朝鮮半島付近から本州付近へそれぞれ発達しながら進む。前線や低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。また、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。西～北日本では18日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、強風や高波、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

③ 500hPa 5880m以上の帯状の高気圧が、華南～日本の南～南鳥島近海にほとんど停滞。地上では高気圧は不明瞭だが、北緯30度以南は東よりの風の場合が続き、下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり雷を伴った強い雨の降る所がある。南西諸島では18日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕

① 雨量(06時からの24時間):北陸120、東北・近畿・四国100mm。

② 波浪(明日まで):東北4、関東・伊豆諸島3m。

③ 高潮(明日まで):東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「雷と突風及び降ひょうに関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。